

## 2023年度

科目名称	キャリアデザイン (インターシップ)
授業コード	A0310
英語名称	Career Design III
学期	2023年度通年(前・後)
単位	1.0
担当教員	三尾 真琴(共通・教職資格系科目・卒業生発行区分), 井腰 圭介(共通・教職資格系科目・卒業生発行区分)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>職業選択を通じた自己実現能力の養成を前後期を通じた通年で行なう。特にキャリア形成のステップの一つである啓発的体験としてのインターンシップを通じて、卒業後の進路において「なりたい自分(自己実現)」を実現するために何をすればよいかを考え、具体的な行動を起こすきっかけを作ることが、この授業の目的である。</p> <p>具体的な授業の課題は、インターンシップ活動を行うことであり、成果としてのインターンシップ報告書の提出が求められる。座学だけではなく、就職に必要な行動や作業課題などを順序だてて具体的に実践しながら、必要なコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>最後には履修者間の情報・課題等共有を目的にした報告会も予定している。報告会はできるだけ多くの履修者に参加してもらうため、オンライン(ライブとオンデマンド併用)での実施も検討する。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	担当者の三尾は、民間企業に12年間の勤務経験があり、職業観、職業選択、就職活動などでアドバイスが可能である。
到達目標	<p>本科目は本学の基本理念をベースに、「社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現する」ことを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 望ましい職業観ならびに社会人として必要な知識・スキルを身につけることができる。</li> <li>2. インターンシップを通じて、具体的に自分のキャリア形成を理解することができる。</li> <li>3. インターンシップを通じて職業人としての意識を醸成し、実際に社会で働くためのスキルを身につけることができる。</li> </ol>
計画・内容	<p>【前期】時間と教室を固定した通常の授業形式で行う。ただし、授業内での作業の進行などに応じて、以下の計画を変更する場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)科目の目的と進め方の紹介/キャリアデザインとは何か(井腰)</li> <li>2)インターンシップの心構え/どんなインターンシップがしたいかをイメージする(井腰)</li> <li>3)自分の興味領域からインターンシップ先を考える/希望先の業種を広げる(井腰)</li> <li>4)インターンシップ先の探し方(1)/就職情報サイトへの登録(井腰)</li> <li>5)インターンシップ先の探し方(2)/職種・業種で探す(井腰)</li> <li>6)インターンシップ先への応募書類(エントリー・シート)の作成(1)(井腰)</li> <li>7)インターンシップ先への応募書類(エントリー・シート)の作成(2)(井腰)</li> <li>8)大学指定の履歴書用紙への記入(1)(井腰)</li> <li>9)大学指定の履歴書用紙への記入(2)(井腰)</li> <li>10)インターンシップに必要なマナー(1)/時間管理、アポイント(井腰)</li> <li>11)インターンシップに必要なマナー(2)/服装、言葉遣い(井腰)</li> </ol>

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>12)職場におけるコミュニケーション/人の話を聴く、チームビルディング(井腰)</p> <p>13)筆記試験の実際と対策(1) / 模擬体験(井腰)</p> <p>14)筆記試験の実際と対策(2) / 振り返り (井腰)</p> <p>15) インターンシップへの準備と点検(井腰)</p> <p>【夏季休業期間頃】 インターンシップへの参加/進め方の相談とノートの記(三尾・井腰)</p> <p>【後期】 受講者の進捗状況に即した指導ができるように集中講義の形式で進める。(三尾・井腰)</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>通年科目なので、前期は配布資料を中心とした講義に加え、キャリア支援センターによる指導も組み込んだ実践的なペアワークやグループワークを行ない、インターンシップに必要な他者とのコミュニケーションの取り方を具体的に学んでいく。またテーマに応じて、外部講師にもお話しいただく形で進める。</p> <p>時期は流動的であるが、この授業の中心になるインターンシップの際には「振り返りレポート」に記入し、体験からの学びを自分のものとする。また、毎日、日報に業務内容や気づいたことなどを記入し、最終日には受け入れ先に評価してもらう。</p> <p>後期には、インターンシップ終了後に報告書を作成して提出する。時期などを調整して可能であれば、報告会を行って就職活動の成果と課題を広く共有するための機会を設ける。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>事前(調べ)学習ならびにグループワークを取り入れる。また、インターンシップの振り返りを行う。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>予習: 配布資料などで指示された用語や内容を調べてまとめる。(2時間程度)</p> <p>復習: インターンシップの振り返り、配布資料やノートの整理。(2時間程度)</p> <p>予習と復習を合わせて60時間以上とする。</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>【教科書】 使用しない。教員が作成した資料を配付して進める。</p> <p>【参考書】 松尾 睦(2011)『職場が生きる人が育つ「経験学習」入門』ダイヤモンド社 前田信彦(2022)『キャリア教育と社会正義』勁草書房 他</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>受講後のコメント(15%)、インターンシップへの参加(35%)、レポート(50%)で総合的に評価する。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>提出された課題(レポート)は、可能な限り、授業で活用する。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>Campus Squareを参照。 窓口担当教員: 井腰圭介 ikoshi@ntu.ac.jp</p>
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低5日間以上のインターンシップ(できれば10日間以上が好ましい)を求める。</li> <li>・帝京科学大学の学生としての自覚と責任をもってインターンシップに参加すること。</li> <li>・授業(報告会)及びインターンシップに積極的な参加を求める。</li> </ul>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。</li> </ul> <p>成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変更なし。</li> </ul>